

重度障害者の社会参加の可能性

研究員 **城本大輔** (daisuke@yui.fi)

研究員 **高橋宜盟** (yoshi@yui.fi)



一般社団法人

結ライフコミュニケーション研究所

ゆい

筋ジストロフィー

41歳



「役割」を感じられる



気管切開・人工呼吸機



物足りなさ

医療と介護ばかりで
気が滅入る

一生懸命取り組めるもの
が欲しい



社会の役に立つ

必要とされる側になりたい

社会との関わりがないと
健康ではいられない



きちんと仕事に就きたい



障害者は皆アーティスト
ではない



考えたアイデアを企業に送り
気に入ってもらえたら
それを提供する



コミュニケーションツール



誰にでも起こりうること

せめて身近な家族とは 円滑なコミュニケーション



お問い合わせ窓口



1 社目

無反応



2 社目

外部提案は受け入れない



対価を要求する？

他に声をかけましょう。

採用不採用は通知しない

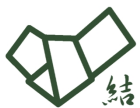


ポッドキャストで知った iPhoneアプリの会社

最後と思って連絡



企業側の考え



ICTあつてのこと

自宅のベッド上での出来事



ネット上のやり取り

顔を合わせての話し合い



民間企業における 障害者雇用率が過去最高



統計に表れる障害者

自力で通勤

身の回りのことはできる



ICTによる

重度障害者の可能性



仕事の評価方法 技能取得の考慮 給料と公的サービス

事例が増えていくことが大事



障害者の活躍が 珍しくない社会

社会から必要とされ
力を発揮したい気持ちは
健常者も障害者も同じ
生きがい





外に取り出されていない

黄金の脳みそ

